

「うちどく」通信～2022.7～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



【7/8 提出分】

提出数/人数(欠席)

提出数/人数(欠席)	4年 22(1)/25
1年 15(2)/17☆GOOD☆	5年 11(1)/17
2年 13/13☆GOOD☆	6年 21(1)/23
3年 18/18☆GOOD☆	全校 100(5)/113



1年 O・K 『だるまさんの』 E か 読んだ人:K 聞いた人:おかあさん・いもうと  
 K:だるまさんのめとか、だるまさんののつめにだるまさんのかおがついているのがおもしろかったです。  
 お母さん:「だるまさんの、、、」に続く次のページの絵やことばがどんなものが出てくるのか読んでもらって  
 いてとっても楽しみでかわいい絵本でした。妹のすずも喜んで聞いていました。

1年 K・A 『あいつもともだち』 E う 読んだ人:お母さん 聞いた人:A  
 A:さいしょ、へびがひとりぼっちでしょんぼりしていてかわいそうだった。さいごはキツネさんたちとおともだ  
 ちになれてうれしそうだったからよかった。  
 お母さん:娘も相手の気持ちを考えて行動できる子になってほしいと思いました。絵本を通して色々な事を考  
 え感じとってほしいなあと思います。

2年 U・U 『ぼくのにせものをつくるには』 E よ 読んだ人:U・お母さん 聞いた人:お母さん  
 U:けんたくんがなんにもしたくなくて、にせものをつくるためにロボットをかう話でした。わたしはこの本を  
 読んでロボットはいらないと思いました。なぜなら自分のことは自分でしたほうがいいと思ったからです。  
 お母さん:僕のにせものだとばれないようにロボットにふるまってもらう。そのためにロボットに「自己紹介」を  
 するが「けんたくんらしさ」を知りたいというロボット。「自分らしさ」とはなんだろうと考えるととてもむずかし  
 いなあと思いました。最後お母さんにばれて笑ってしまいました。

2年 M・S 『かべのむこうになにがある』 E て 読んだ人:お母さん 聞いた人:S  
 S:さいごにライオンとねずみがなかよしくなっていました。  
 お母さん:ゆうきをもつことは大事なことだと思いました、勇気を出していろんな事にチャレンジしてあたらし  
 い世界をみてほしいです。

3年 T・N 『中学校ってどんなところ』 37ち 読んだ人:N 聞いた人:お母さん  
 N:せいふくや部活のしゅるいが多いのがわかりました。  
 お母さん:まだ小学3年生だけど、もう中学校の事が気になるんだなあと思うと子どもの成長は早いなあと思  
 いました。

4年 I・R 『おかげさまで いのちのまつり』 E く 読んだ人:R 聞いた人:お母さん  
 R:おかげさまということばをたくさん言いたいと思いました。  
 お母さん:7月7日は七夕でもあり亡くなったおばあちゃんの誕生日でそんな思い出の日のにのちのまつりを  
 かりてきてくれました。見えない力、感謝の気持ちを感じられる力をつけたいねと考えさせられる本でした。

3年 H・A 『いじわるなんてこわくない』 E あ 読んだ人:A 聞いた人:お母さん  
 A:学校に行くときにいやなことが心の中であふれていて他の子がいやな事をおさめてくれ  
 たのでとても楽しくうれしそうでした。  
 お母さん:勇気をもって注意してくれるお友達がいて女の子も心強かったと思います。みんな安心  
 して楽しく過ごせる学校になって良かったです。

4年 M・S 『ちびまる子ちゃんの学級日誌④』 913サ 読んだ人:S 聞いた人:お母さん  
 S:なっちゃんが困ってるときに、まる子が助けたのがやさしいなあと思いました。  
 お母さん:まる子がなっちゃんに優しくしたのにクラスの友達にからかわれたのでかわいそうであ  
 った。同級生だけではなく、他の学年との交流を通してたくさんの事を学んで欲しいです。

5年 M・D 『なぜ?どうして?科学のお話』 40ナ 読んだ人:D 聞いた人:お母さん  
 だいち:いろいろな科学がのっていて自学に生かそうと思いました。  
 お母さん:たくさんの「ふしぎ」に出会える本でした。この本を通して理科が好きになってほしいです。  
 5年 T・M 『わたし、わすれもののおいです』 E く 読んだ人:M 聞いた人:お母さん  
 M:わたしも、まきちゃんみたいにわすれものが多いから最後まきちゃんみたくにかくにんをして  
 わすれものをへらしていきたいと思いました。  
 お母さん:本当にまあさんも忘れものが多いのでまきちゃんのように確認してくれるといいなと思  
 いました。自分の事と重ねたのかな?と笑ってしまいました。

6年 Y・R 『ぼくのかえりみち』 E ヒ 読んだ人:R 聞いた人:お母さん  
 R:白い線の上を歩くのは、ぼくもしたことがあっていがいとおもしろいです。  
 お母さん:子どもの頃こんな事を私もしていたなあと思ったら玲央もあると。なんだか楽しくなる  
 んですよ。自分で決めた事をやってみる。こんな事でも「挑戦」ですよ。

6年 H・N 『知里幸恵とアイヌ』 28カ 読んだ人:N 聞いた人:お母さん  
 N:最初私は「アイヌ」という意味がわからなかったけど、北海道の先住民と知ってびっくりしま  
 した。だけど、アイヌの人々がいろいろな差別を受けていたので少し悲しくなりました。そして私は  
 差別されても勉強を一生懸命頑張る幸恵がとてがかっこいいと思いました。  
 アイヌの人の事をもっと知りたくなりました。  
 お母さん:自分の為だけでなく全てのアイヌの人々の為に生き続けた幸恵さんが本当にすばらし  
 いと思います。今の私にもいろいろ考えさせられる物語でした。